

事務事業評価シート

(H.28)No.	1134	(H.27)No.	1134
-----------	------	-----------	------

事務事業名	学校支援ボランティア推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育センター	市橋 秀介	

会計区分	事業コード	465401
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	学校支援ボランティア推進事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	学校支援ボランティア推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市内各小中学校が、より身近で親しみやすい開かれた学校づくりをめざして教育に取り組むために、地域の人々や保護者の様々な知識、経験や技能を生かして、学校教育をより充実します。
事業内容
市内各小中学校において、学校生活支援ボランティアがよりよく活動できるように、ボランティアの資質を向上させるとともに、活動に必要な物品を充実させ、子どもの学習環境を整え、安心・安全な生活を保障します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)			
	<p>学校生活支援ボランティアの登録者を一元管理し、各校の学校生活支援ボランティア活動の支援を行います。</p> <p>教育センターに配置している3名のチーフコーディネーターが、各学校のコーディネーターの養成及び資質向上のために支援します。</p> <p>・報償費(コーディネーター養成研修講師報償費)10千円 ・消耗品費(15千円×19校)285千円</p>	28年度より、「No.1269教育研究事業」に統合	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	(0千円) 295千円	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳(千円)	国・県支出金				
	地方債				
	その他()				
	一般財源	(0) 295	0	0	0
人工数	職員	0.10人	0.00人	0.00人	0.00人
	臨時職員等	1.42人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 3,174千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 3,469千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
学校ボランティア室に、3名のチーフコーディネーターを配置し、学校訪問や研修会等を実施しました。平成27年度末には658名のボランティア登録があり、学校教育活動を支援していくための取組を進めてきました。	学校支援ボランティアの募集や、教育センターでのコーディネーター養成講座の開催、登録者と学校とのマッチングなど、チーフコーディネーターによる学校訪問等を通して、名張版コミュニティ・スクールの基盤構築に向けた取組を拡充します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	学校支援ボランティアの充実により、学校教育環境や児童生徒への学習支援が充実し、児童生徒満足度も向上が見込まれるなど、地域に開かれた魅力ある学校づくりの取組を進めることができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域の図書館ボランティア団体による活動や、登下校の見守り活動などが実践されています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	統合検討
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
平成28年度より教育研究事業に統合し、引き続き児童生徒の学校教育活動の支援に取り組みます。	第二次名張市子ども教育ビジョン